

PRINTER TERMINAL CONTROL APPARATUS

Publication number: JP3251481

Publication date: 1991-11-08

Inventor: NARAOKA FUMITO

Applicant: NIPPON ELECTRIC CO

Classification:

- International: B41J29/38; G06F3/12; B41J29/38; G06F3/12; (IPC1-7):
B41J29/38; G06F3/12

- European:

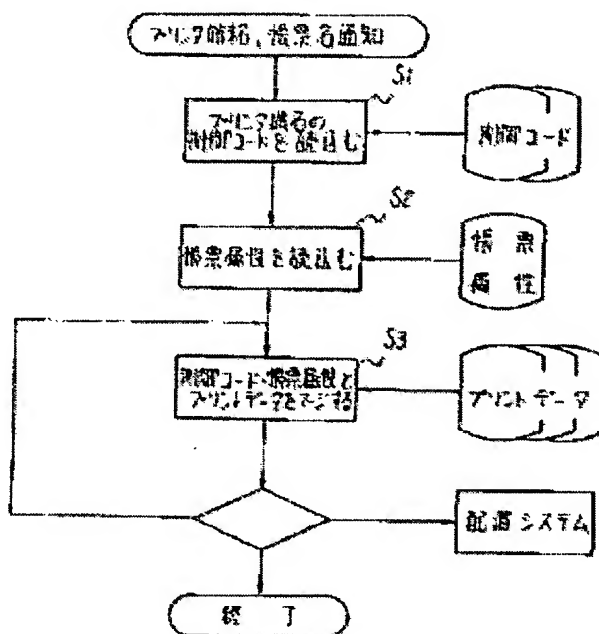
Application number: JP19900050957 19900301

Priority number(s): JP19900050957 19900301

Report a data error here

Abstract of JP3251481

PURPOSE: To perform automatic control by adding a printer terminal control code to transmission data by taking a terminal control system having an environment defining part defining the attribute of a slip to be printed and the control code of a printer terminal and the margin part of the attribute, the control code and slip data to be printed. **CONSTITUTION:** The printer terminal name being the printing destination of printing data is informed from a system transmitting printing data and the printing data is delivered to a system adding the control code of the kind of a machine corresponding thereto to the printing data to perform transmission. The output demand of the printing data is performed to the system performing the transmission of the printing data at first with the printer terminal name being an output destination and a slip. At this time, the control code is added by obtaining a control code adapting the printer terminal data as a key and adding a slip name to the printing data obtained as a key from a data control part to deliver data to the transmission system.



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平3-251481

⑮ Int. Cl.⁵

B 41 J 29/38
G 06 F 3/12

識別記号

Z
C

庁内整理番号

8804-2C
8323-5B

⑬ 公開 平成3年(1991)11月8日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 プリンタ端末制御方式

⑯ 特 願 平2-50957

⑰ 出 願 平2(1990)3月1日

⑱ 発 明 者 奈良岡 史人 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内原 晋

明 細 書

発 明 の 名 称

プリンタ端末制御方式

特 許 請 求 の 範 囲

印刷する帳票の属性とプリンタ端末の制御コードとを定義する環境定義部と、前記属性と前記制御コードと印刷する帳票データとをマージするマージ部とを有することを特徴とするプリンタ端末制御方式。

発 明 の 詳 細 な 説 明

(産業上の利用分野)

本発明はプリンタ端末でのリモート印刷に関し、特にプリンタ端末制御方式に関する。

(従来の技術)

従来、プリンタ端末は帳票印刷時は帳票属性に合わせてプリンタ端末の操作スイッチを端末運用者が操作し制御を行っていた。または、帳票作

成プログラムにプリンタ端末を制御するコードを帳票データ中に挿入させて印刷制御していた。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来のプリンタ端末制御方式は、

(1) 帳票属性毎に人手の介入が必要となる。また、プリンタ端末に操作スイッチが存在しない場合は制御が不可能である。

(2) プリンタ端末の機種毎に制御コードの互換性を調査し、機種対応の制御コードの挿入が必要となる。

という欠点がある。

(課題を解決するための手段)

本発明のプリンタ端末制御方式は、印刷する帳票の属性とプリンタ端末の制御コードとを定義する環境定義部と、前記属性と前記制御コードと印刷する帳票データとをマージするマージ部とを有する。

(実施例)

次に、本発明について図面を参照して説明する。

プリンタ端末の自動制御機能はプリントデータの配信及び蓄積を行う機能とは独立に存在するが、本発明では配信データにプリンタ端末制御コードを付加することにより、自動制御を可能とする。

第1図は本発明の一実施例を示す説明図である。同図においてプリントデータの配信を行うシステム1からはプリントデータの印字先であるプリンタ端末名が通知される。通知された端末名より対応する機種種の制御コードをプリントデータに付加し(2)、配信を行うシステムへプリントデータを引き渡す。

第2図はプリントデータにプリンタ端末制御用のコードを付加する時の処理を示す流れ図である。プリントデータの出力要求は、まずプリントデータの配信を行うシステムに対し出力先プリンタ端末名及び帳票をもって行なわれる。この時、制御コードの付加はプリンタ端末名をキーとして適合する制御コードを得(S1、S2)、帳票名をキーとしてデータ管理部より得たプリントデータに

付加し(S3)、配信システムへデータを引き渡す。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明はプリンタ端末の制御を自動的に行うことにより、

(1) プリンタ端末制御に関する統合運用の実現、

(2) 統合運用の実現によるサービスの同等性、

(3) 制御の自動化によるオペレータ負荷削減及び操作ミスの削減、

等の効果が期待できる。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す説明図、第2図は動作を示す流れ図である。

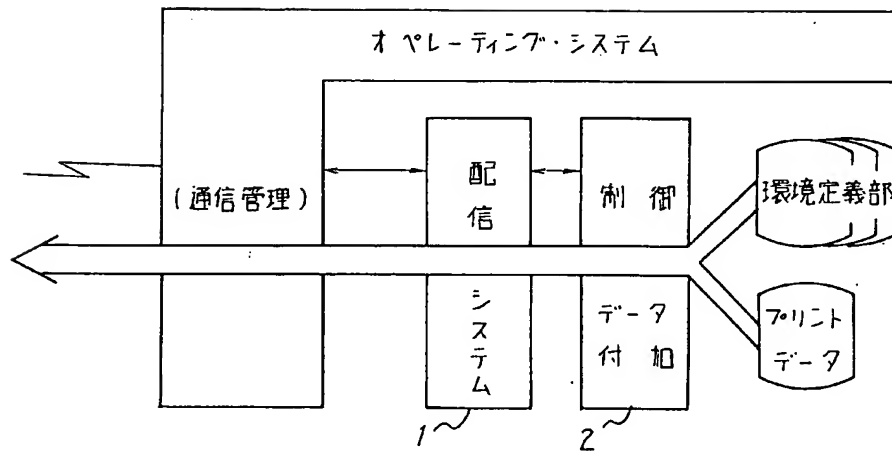
1…配信システム、2…制御データ付加システム、S1、S2、S3…処理ステップ。

代理人 弁理士 内 原 晋

- 3 -

- 4 -

第 1 図



第 2 図

